

栃の木からの手紙

2018年 10月号



8月12日より本格的に始まった芋の収穫作業。2ヶ月間に亘る芋の収穫・選別・出荷作業。この間に、小麦の播種、緑肥の処理等の作業が入ってくる。苦しい芋の作業期間（主婦は男性以上に大変）がもうすぐ終了する。

現在、有機JASの芋の選別・出荷準備中。

こんな中、大雪山系黒岳では8月中旬に早くも降雪が確認され、雪虫が舞っているのを9月22日に芋の作業中に確認しました。季節の移り変わりが早まっているのだろうか？

降霜は、まだありません。

10月 神無月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8日： 寒露

9日： 新月 旧 9月 1日

14日： 大空町道の駅 輝農祭 10時から15時

21日： 北見センター 収穫祭 9時から12時

23日： 霜降

25日： 満月 旧 9月17日



雑草だらけの芋畑での収穫作業は、大変苦勞しているし危険な事をしている。左中写真の機械の後ろのコンベアに私がよじ登り詰まった雑草を取り除いたり畑に排出されようとしている芋を機械に戻したりしている。この間トラクターは無人でゆっくりと走行している。今年は、そんな事が一度もありませんでした。

今年の芋畑の気が付いた点としては、

- ・例年より2週間位、茎葉が永く枯れずにあった。
- ・収穫量が多い。
- ・とうや芋は腐れが多かった。
- ・昨年から、茎葉処理を2回して雑草を刈り払っている。
- ・雑草の種類は相変わらずイネ科が多い。
- ・芋の変形が少ない。小玉は多い。

自分でも気付かない変化が、作業性を良くしてくれました。



黒大豆が10月に入って、黄変が始まりました。今年は無事に収穫が出来そうです。大豆の片隅に育てた野菜。大根がすりおろして食べると、物凄く辛い！下部からおろしているせいもありますが、「自然農法プレミア」レベルですよ！こうゆう物なのかな？